



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 日本伸銅株式会社
 コード番号 5753 URL <http://www.nippon-shindo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 窪田 誠
 (氏名) 木本 道隆
 TEL 072 229 0346

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,445	20.6	968	14.5	270	68.7	186	68.2
2020年3月期第3四半期	13,159	17.3	846	7.1	863	13.8	586	13.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	79.15	
2020年3月期第3四半期	248.42	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	12,265	8,477	69.1	3,607.47
2020年3月期	11,607	8,251	71.1	3,496.28

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 8,477百万円 2020年3月期 8,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.00		5.00	10.00
2021年3月期		5.00			
2021年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	12.9	1,400	26.7	700	53.1	500	51.3	212.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料P. 5「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,370,000 株	2020年3月期	2,370,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	19,947 株	2020年3月期	10,031 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	2,356,608 株	2020年3月期3Q	2,360,139 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(追加情報)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020年春以降急速に景気が悪化しましたが、昨秋以降は、半導体や自動車などの製造業で、需要が急回復しました。当社の主要原材料で製造業全般の動向を映す銅の価格は、金融緩和の影響もあり、上昇を続けました。

当社では、需要が減少したため、臨時休業日を設けて雇用調整助成金を受給しましたが、昨年末には、通常操業に復しました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、感染拡大の影響により、販売数量が14,902トン（前年同期比18.3%減少）となり、売上高は104億45百万円（同20.6%減少）となりました。収益面につきましては、銅相場の上昇等から営業利益は9億68百万円（同14.5%増加）となりましたが、銅相場のリスクをヘッジするためのデリバティブ取引で損失が発生したため、経常利益2億70百万円（同68.7%減少）、四半期純利益1億86百万円（同68.2%減少）となりました。

当社は伸銅品関連事業の単一セグメントとしております。伸銅品関連事業の部門別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

(伸銅品)

当社の主力製品である伸銅品は、感染拡大の影響により、販売数量14,339トン（前年同期比19.0%減少）、売上高は、販売数量が減少し、87億24百万円（同22.1%減少）となりました。

(伸銅加工品)

伸銅加工品においては、感染拡大の影響により、売上高は6億61百万円（前年同期比5.1%減少）となりました。

(その他の金属材料)

その他の金属材料は、伸銅品原材料の転売が主で、感染拡大の影響により、売上高は10億59百万円（前年同期比16.5%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は90億3百万円となり、前事業年度末と比べ3億38百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1億19百万円減少したものの、たな卸資産が4億55百万円増加したことによるものであります。固定資産は32億61百万円となり、前事業年度末に比べ3億20百万円増加しました。

この結果、資産合計は122億65百万円となり、前事業年度末に比べ6億58百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は33億35百万円となり、前事業年度末と比べ4億円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が4億58百万円増加したことによるものであります。固定負債は4億52百万円となり、前事業年度末に比べ30百万円増加しました。

この結果、負債合計は37億88百万円となり、前事業年度末と比べ4億31百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は84億77百万円となり、前事業年度末に比べ2億26百万円増加しました。これは主に四半期純利益1億86百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.1%（前事業年度末は71.1%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年10月20日の「業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年2月12日）発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,203	1,084
受取手形及び売掛金	3,236	3,147
電子記録債権	1,999	2,175
商品及び製品	681	707
仕掛品	789	1,101
原材料及び貯蔵品	480	598
その他	275	189
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,665	9,003
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,078	2,078
その他（純額）	472	669
有形固定資産合計	2,550	2,747
無形固定資産		
投資その他の資産	7	6
その他	383	507
投資その他の資産合計	383	507
固定資産合計	2,941	3,261
資産合計	11,607	12,265
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	916	1,374
短期借入金	1,400	1,400
未払法人税等	291	—
賞与引当金	91	35
その他	235	525
流動負債合計	2,934	3,335
固定負債		
退職給付引当金	25	28
その他	395	424
固定負債合計	421	452
負債合計	3,356	3,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,595	1,595
資本剰余金	290	290
利益剰余金	6,371	6,534
自己株式	△17	△30
株主資本合計	8,239	8,388
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	89
評価・換算差額等合計	12	89
純資産合計	8,251	8,477
負債純資産合計	11,607	12,265

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	13,159	10,445
売上原価	11,776	8,993
売上総利益	1,382	1,452
販売費及び一般管理費	536	483
営業利益	846	968
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	6
デリバティブ利益	143	—
雇用調整助成金	—	22
その他	4	5
営業外収益合計	156	34
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	2	2
デリバティブ損失	—	584
デリバティブ評価損	134	144
その他	0	0
営業外費用合計	139	733
経常利益	863	270
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	863	270
法人税等	277	83
四半期純利益	586	186

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世界的に外出や移動が制限される中、消費や企業の経済活動が停滞したため、当社においても、需要の減少により、販売量が落ち込み、工場を臨時休業したため、売上高の減少等、当社の業績に大きな影響がありました。また、本感染症の収束時期やその影響の程度を正確に予想することは困難であります。

固定資産に関する減損損失の認識要否の判断、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについて財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社事業への影響は、当第3四半期末より通常操業にほぼ復したものと仮定し、会計上の見積りを行っております。新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済環境への影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、将来の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。